

# NEWSLETTER

ミャンマー企業訪問

## Myanmar 51 Studio Co., Ltd. 工藤CEO、渡辺ディレクター



Facebook: Myanmar 51 of Japan  
Animation Company  
Address: No38, Moe Kaung Pagoda  
Road, Yankin Township, Yangon

Q Myanmar 51 Studio 工藤様、渡辺様にお話を伺います。はじめに貴社のご紹介をお願いします。

2014年8月にミャンマー現地法人を設立し、2015年から活動をはじめた、ゲームやアニメーションなどで用いるコンピュータグラフィックス（以下CG）の制作会社です。グループとしては10年の実績があり、日本・中国・ミャンマーで業務を行い、日本を代表するゲームタイトルであるドラゴンクエストXやモンスターハンター4G、アニメではアクエリオンEVOLなどのCG制作にもしております。ミャンマーでは2015年半ばから日本の案件を受注しはじめました。近い将来にはミャンマー国内市場も狙います。私（工藤CEO）は学生時代に中国に留学し、その後天津に移住して弊社へ入社しました。縁あってミャンマーに来て2015年7月に現地法人のCEOに着任しました。

Q ミャンマーでの業界の現状はいかがですか。

CG業界・市場がまだ十分形成されておらず経験者が少ないので、芸術センスの高い人材の育成から始めています。中国では元々日本のコンテンツが比較的浸透していたのですが、ミャンマーでは日本のコンテンツがまだ少ないです。興味から始まる部分も多い業界なので、もっと日本のコンテンツを広げていきたいですね。

Q スタッフ育成等、業務のご計画は？

ミャンマーの方々は芸術センスが高いですね。3か月の研修期間に、納品できるレベルまで到達するスピードには驚いています。一般的にはメンタルが

打たれ弱いといわれるミャンマー人ですが、実は彼ら自身が実感できる結果がついてくると、強さ・自信がついてきますので、今年度はスタッフとともに会社が力をつけ、同時にミャンマーのCG業界を盛り上げるイベントなどを企画したいと思っています。

Q ミャンマーならではの苦労はありますか。

前の勤務先が中国だったので中国とのギャップで驚くことが多いです。中国人は年下・年上をあまり気にしませんし、言いたいことを言いたうのが普通ですが、ミャンマーは真逆です。彼らは遠慮がちで意見をあまり発信しないため、そのことに私自身が慣れていないことで苦労があります。

Q 読者へミャンマービジネスのアドバイスと貴社のアピールをお願いします。

日本の文化を押し付けると失敗すると思います。自分の常識・文化を疑うことが必要です。ただしビジネススタイルは日本式も実施しておりますし毎日朝礼や終礼を行います。また全員で掃除を行うなど家族のような組織づくりをしています。怒られるとしても父親に叱られるのなら、愛情を感じられるでしょうし。弊社では企業のCM制作やシンボルキャラクター・アニメーションも制作できます。日本とミャンマーのコラボレーションでよいデザインを提案しますので、ぜひお声をかけてください！

ミャンマー会計税務  
トピック

【アセスメントと営業許可更新】

ミャンマーの会計期間は4月1日から3月31日と一律であり、3月31日の会計期間終了から3ヶ月後の6月末が所得税や商業税の確定申告の期限です。その後担当税務官による「アセスメント」を経て税額が決定されます。この税額決定通知が会社の営業許可の更新時に必要となります。外資系企業の営業許可は3年間、5年間の場合がありますが、更新が近づいている企業ではアセスメントの状況を確認し許可の更新に備えてください。



Shwedagon Monks Laughter